

西東京市視覚障害者協会 お知らせ

令和4年 12月

第7号

発行:西東京市視覚障害者協会 連絡先:三原(042-463-6765)・野口(0422-77-7653)

令和4年12月の西東京市視覚障害者協会からのお知らせです。

全盲では、周りの状況を知るためには、耳から聴こえる音を頼りにします。

外出すると、周りの足音、なんとなく気ぜわしく聞こえてきますが、一方では、聴こえてくる音楽は、X'masソングの軽やかなメロディに載せて、多くの皆さんが楽しんでいる街の様子が伺えます。

一年を振り返って「何ができただろう?」、一方「何ができなくなっただろう?」と思いながら師走を感じています。

今月は次の2つの話題をお送りします。

1. 保谷こもれびホールから障害者に配慮したコンサートの予定を2件、紹介します。
2. 先月「情報ほっとライン」でお伝えした市民文化祭で用意した冊子「見えない人・見えにくい人のことを知ってわたしたちにできること 考えてみよう!」の内容を紹介します。

「こもれびホール」が計画しているコンサートで、障害者手帳本人が半額、解除者無料と言う破格の条件のコンサート案内です。また、視覚障害者に配慮した舞台の様子や楽器の紹介時間が設けられています。

コンサートにご興味がありましたら、是非、チケット購入の上、お出かけください。チケット入手には、ホールの座席数に限りがあるので電話予約が可能です。当日を含め、ホールのチケット売り場で手帳を見せて購入を行う必要があります。

●2023年1月21日(土曜日)15時開演(開場14時15分)

「折衷和楽四人衆」コンサート

津軽三味線と和太鼓で民謡と一寸だけ歌謡曲

日本一の津軽三味線奏者2人と民謡歌手と和太鼓奏者

彼らにしかできない熱い演奏とゆるいトークの約2時間

S席3000円 A席2500円 B席2000円・障害者50%割引(介助者1名無料)

●2023年2月25日(土曜日)14時開演(13時30分開場)

原田節(はらだ たかし) オンド・マルトノの世界

20世紀前半にフランスで生まれた電波楽器オンド・マルトノの魅力が堪能できるコンサート

チケット 一般1500円 18歳以下 500円 障害者500円(介助者1名無料)

ところで、このコンサート情報をお伝えするに至った事情について紹介します。

こもれびホールでは、様々な催し・コンサートに障害者が来場、楽しめるホールであることを目指しておられます。

かねてより、その実現のために、色々と工夫や対応について勉強、努力をされており、この原稿を書いている11月29日(火曜日)にも、ホールの職員さんに向けた講習会が行われました。

午前中には、聴覚障害者に向けた学習が行われ、午後が、視覚障害者対応でした。

「NPO法人 シニア演劇ネットワーク」代表理事 鯨エマさんの講師と司会で進行され、視覚障害者へのサポートについての講習場面ではわたくし野口がコメンテータとして参加させていただきました。

講習内容では、コンサートや演劇鑑賞においても、障害者への合理的配慮の対応、高齢者を含むバリア解消の必要性、対象来場者への体験実習が展開されました。

また、上演者側にも障害者に対応した企画がされるようになってきたことも紹介されていました。

今回紹介したコンサートは、チケットへの優待だけでなく、内容も配慮されたものになっています。人々が集まる場所に障害者が共に集う場面が増えることには、共生社会を謳う現在の社会に対して意義があると考えられます。

次に、「見えない人・見えにくい人のことを知って わたしたちにできること 考えてみよう！」の冊子についてです。

視覚障害には、全盲、弱視など、色々な状態があります。しかし、白杖(雪国では、黄色の場合があります)を使って歩行している人は、間違いなく、それを必要とする視覚障害者であると言えます。

ではこの白杖を持つ当事者ではなく、それを見かける側からは、私たちがどのように見ているかについては彼らも、それが視覚障害者であるとわかって、どうすれば良いかについては、よく知らないと言うのが本音かと思っています。勿論、白杖が何であるかを知らない、気にしない方もおられますが。

今回の紹介冊子は、視覚障害当事者に向けたものではなく、一般の方への啓蒙用として作成されたものです。

子供たちにも理解しやすい様に、視覚障害者が街角などで行動している様子をマンガ風の絵で紹介し、「困っている様子だとどの様に声掛けすれば良いのか」、「手を貸す場合は」、「誘導ブロックについて」はなどなどが解説されています。

コンテンツは全国視覚障害者情報協会(本部は大阪でサピエを運用している協会です)から私たち西東京市視覚障害者協会が利用することの許諾をいただきました。

なお、この冊子は、障害に関係するイベントで配布したり、ご要望があればコンテンツデータを提供します。

今月の図書館からの「情報ほっとライン」でも朗読提供しました。

次項以降に縮小印刷したものを付けておきました。ご覧ください。

今回の「情報ほっとライン」は、野口がお送りしました。